

1 目標値



本計画における施策を推進するにあたって、以下の目標値等を設定し、検証・評価を行います。

1 目標値

基本目標1 高齢者の心身の状況やニーズに応じた多様な住まいの確保

指標	現状値	中間目標値	目標値
高齢者人口に対する 高齢者向け住まい*の割合	3.8% (2014年度)	3.9% (2020年度)	4.0% (2023年度)
サービス付き高齢者向け住宅等の 供給戸数	9,471戸 (2017年度)	11,028戸 (2020年度)	12,600戸 (2023年度)
高齢者の居住する住宅のうち 一定のバリアフリー化*が行われた割合	37.5% (2013年度)	53.0% (2020年度)	66.0% (2023年度)

*「高齢者向けの住まい」とは、国が当指標の対象として定めているものを踏まえ、本計画では、軽費老人ホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、高齢者向け優良賃貸住宅、緊急時対応の設備がついた市営住宅を対象とする。

*「一定のバリアフリー化」とは、二箇所以上の手すりの設置又は屋内の段差解消を行うもの。

基本目標2 高齢者の住まいへの入居支援の充実

指標	現状値	中間目標値	目標値
住まいサポートふくおかによる 賃貸借契約成約世帯数（累計数）	177世帯 (2017年度)	200世帯 (2020年度)	300世帯 (2023年度)

基本目標3 在宅で安心して暮らせる包括的な支援体制の構築

指標	現状値	中間目標値	目標値
いきいきセンターふくおかの認知度	46.8% (2013年度)	60.0% (2019年度)	60.0% (2019年度)
最期まで自宅で暮らせる高齢者の割合	10.0% (2014年度)	11.7% (2020年度)	11.7% (2020年度)

*目標値は、2021年度策定の保健福祉総合計画に基づき策定する。



2 福岡市介護保険事業計画における 介護サービスの必要見込量

2 福岡市介護保険事業計画における介護サービスの必要見込量

福岡市保健福祉総合計画の基本理念等を踏まえつつ、高齢者の自立支援と要介護状態の重度化防止に向けた取組み等を本格化していくための計画となる、第7期福岡市介護保険事業計画(2018年4月策定、計画期間：2018年度～2020年度)における介護サービス等の必要見込量は、以下の通りです。

■介護サービス等の必要見込量

項目	指標	現状値 または 見込値 (2017年度)	整備目標量 または 必要見込量 (2020年度)
高齢者が居住する 既存住宅のバリア フリー化の促進	住宅改修・介護予防住宅改修 (介護保険)	435件	540件
	住宅改造相談センター	1,915人	2,320人
高齢者向け施設等 の整備	介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	5,844人分	6,220人分
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	2,077人分	2,437人分
	介護老人保健施設	2,627人分	2,627人分
	特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム等)	4,282人分	4,282人分
安心して暮らせる ための生活基盤 づくり	声の訪問事業	556人	550人
	緊急通報システム事業	5,172人	5,910人
	おむつサービス事業	4,634人	4,450人
	短期入所生活介護・ 介護予防短期入所生活介護	26,543日/月	31,090日/月
認知症施策の推進	認知症の人の家族介護者支援事業	20人	28人
	家族介護者支援事業	107人	80人
	認知症の人の見守りネットワーク 事業	1,118人	1,200人
在宅生活を支える 介護保険サービス の提供	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	257人	420人
	小規模多機能型居宅介護	751人	1,090人
高齢者総合支援 体制づくり	いきいきセンターふくおか (地域包括支援センター)	57箇所	57箇所
	成年後見制度利用支援事業(高齢者)	35人	49人

資料：第7期福岡市介護保険事業計画